

2010年1月4日

各位

ネクストソリューション株式会社

代表取締役 依岡正明

新方式で表計算ソフト統制が抱える変更履歴などの課題を解決した連結精算システム開発 転記処理の自動化でデータを取り込んだ連結精算表作成・編集用のEXCELを自動作成

文書関連システム開発のネクストソリューション株式会社（本社・東京都調布市、社長・依岡正明）は連結精算表（連結財務データ）の作成・編集の都度、EXCELファイルをDBに保存し一元管理する新方式でスプレッドシート（表計算ソフト）統制が抱える変更履歴などの課題を解決した連結精算システム「NEXTfao」を開発しました。

同システムは新方式で連結精算表の作成・編集の終了時（元データ保存）に誰が、何時、どの箇所を、どのように変更したかなど処理の全てを記録（変更管理）しているため、誤謬を未然に防止することができます。また、間違いがあった場合も、誰が、何時、どこを、どのように間違えたのか原因を速やかに解明することができます。

さらに、マッピング機能でEXCEL間のデータの転記処理、基幹システムからEXCELへのデータの転記処理を自動化しました。これにより、個別会計システムから連結財務データの作成・編集に必要なデータ（残高試算表）を選択して自動収集し、そのデータを自動で転記処理、つまり手作業での収集と転記処理を行わずにデータを取り込んだ連結精算表作成・編集用のEXCELを自動作成することができます。

こうした様々な機能でスプレッドシート統制に対応すると同時に、転記ミスを回避して正確・迅速に金融商品取引法、会社法などに則った財務諸表を自動生成することができます。財務諸表の生成までの工数は50%前後削減できます。

当社では本年2月から同システムを販売します。なお、新方式で統制強化が図れ、工数削減で会計制度変更のコスト負担も軽減できることから今夏には、国際会計基準（IFRS）対応の同システムの販売も予定しています。

スプレッドシート統制では同シートに対するアクセス制御や変更管理、バックアップなどの対応が必要です。しかし、財務担当者が管理するスタンドアロン型のEXCELでスプレッドシート統制を実現するのは事実上困難です。このため、インターネット上において一元的に管理できるオンライン型のスプレッドシートを使用する企業が徐々に増加しています。

しかし、財務報告書の作成には依然として財務担当者のパソコンのEXCELが使用されているのが実情です。その一方で、国際会計基準（IFRS）との違いを減らすため、日本会計基準の見直しが

進められています。さらに、日本企業の間で、I F R Sの前倒し採用を目指す動きが出てきています。

このため、今後、会計基準の改定が頻繁に行われると予想されます。当社では改定の度にコンピュータプログラムを変更していたのでは非効率であり、手慣れたE X C E Lで柔軟に適時対応して行くべきだと考えました。I F R S採用の場合も手慣れたE X C E Lを使うべきだと考えました。こうした考えに基づいて新方式でスプレッドシート統制に対応した連結精算システム「NEXTfao」を開発しました。

同システムではデータを取り込んだ連結精算表作成・編集用のE X C E Lが自動作成され、それがDBにアップロードされます。これをダウンロードしてE X C E Lのフロント（文書管理画面）で連結精算表を作成・編集する作業を行います。終了してアップロードすると、このファイルはそのままDBに保存されます。

つまり、E X C E Lファイルは上書き保存されるのではなく、ダウンロードとアップロードの繰り返しごとに作成・編集した全てのファイルが順番にDBに保存されるということになります。従って、ファイルが上書きされて失われる心配がありません。そして、ダウンロードの度に前回のファイルから数値（データ）を取り出して作成・編集作業を行います。

また、E X C E Lファイルが順番にDBに保存され、なおかつマッピング機能で指定のデータを取り出せるので、差分情報に関しては指定するファイル間の差分を新旧対応表として表示することができます。この差分情報により、行単位で同一性をチェックすることもできます。

セル情報については指定するファイル・シートのアクティブセルの内容をリスト化し、いわゆるセル情報の見える化を図っています。修正履歴情報については誰（User Name）が、何時（Up-Load Date）、どのファイル（ファイル名）の、どこ（前ファイルとの差分情報）を修正したかという形でリスト化しています。

セキュリティ管理はIDとパスワードで行います。計算結果の検証はX B R L計算リンクで検算します。

なお、I F R S対応を含め同システムは英語版の財務報告書も自動作成でき、有価証券報告書作成システム（完成原稿はX B R LとHTML、PDFの三形式で出力）と連携することができます。

以上

【このニュースリリースに関するお問い合わせは下記にお願いいたします】

ネクストソリューション株式会社

依岡 正明（広報担当）

〒182-0024 東京都調布市布田 1-40-2 アクシス調布 3F

電話 042-498-1811